組立／取扱説明書

SKYMODE 1000

豊かなホビーライフ。模型の京商

KYOSHO®
THE FINEST RADIO CONTROL MODELS

ラジオコントロール 電動 エアークラフト

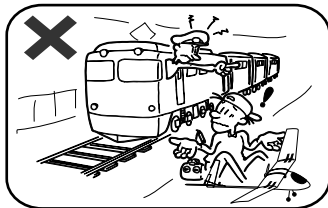
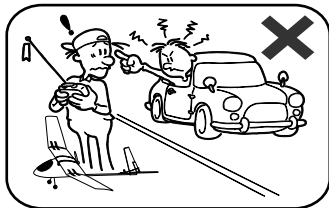
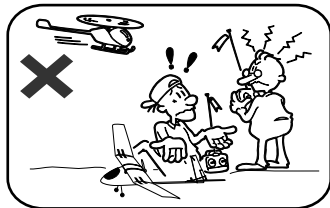
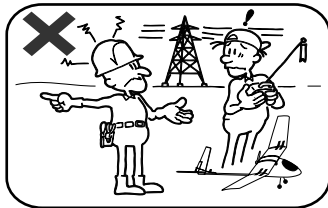
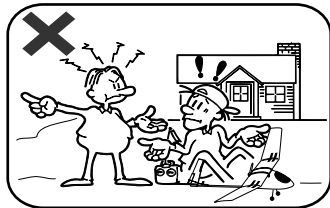
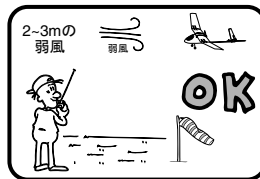
スカイモード 1000

No.10191

単3アルカリ乾電池 x 8本 （別売）

⚠ 安全のための注意事項

1．この組立／取扱説明書をよく読んで、安全のための注意を守ってください。
ケガや事故等、危険防止のため、フライト場所は万一を考えて十分に安全であることを確認してから楽しんでください。

2. 風が強すぎる時（13ページ参照）は､コントロールを失いやすく、機体の破損やケガが起こりやすくなります。
人の居るところ、建物や送電線、高速道路、線路、車の近く、木や水のある場所、歩道等の近くでは飛ばさないでください。

3．プロペラは絶対に体に近づけないように十分注意してください。回転していない時でも、何かの拍子にスイッチが入ることがあります。機体をしっかりと押え、プロペラの後方に飛ばされる物がないか確認してください。特に、風が強い日の発進時は大変危険です。また、フライト中の飛行機を決して手で捕まえようとしないでください。大ケガの原因となります。

4．14歳以下の方が使用する場合は飛行経験者のアドバイスが必要です。

5．バッテリーの充電：セットに入っている充電器は、スカイモード1000のバッテリー以外使用しない。充電中は充電器から離れないようにしてください。過充電の防止にもなります。
また、充電中は発熱しますので、カーペットの上に倒して置いたりしないでください。
セットの充電器で3時間以上充電をしないでください。

6．事故につながりますのでバッテリーや充電器、飛行機のワイヤーを絶対に傷つけないようにしてください。
バッテリーがショート（リード線の＋と－が接触）すると火が出たり、大ケガや破損の原因になります。

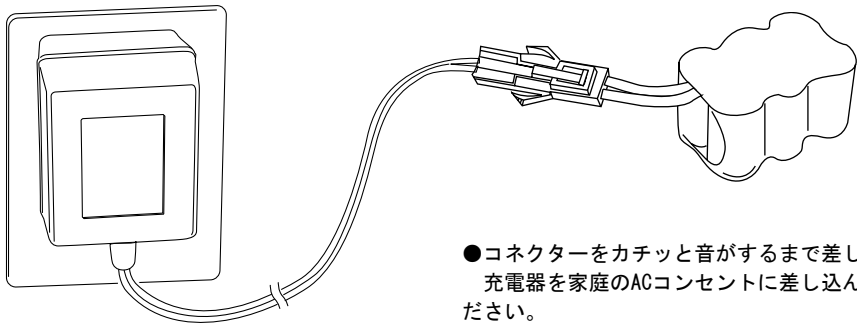
7．飛行機を操縦する際、機体にバッテリーをつなぐ前に、必ず送信機のスイッチを入れてください。
また、フライトが終わったら、送信機のスイッチを切る前にバッテリーのコネクターをはずしてください。

8．スカイモード1000の周波数は送信機の裏のステッカーと機体の横に表示してあります。
同じ場所で、同じ周波数の飛行機を使わないように注意してください。
また、スカイモード1000は、R/CカーやR/Cボートと同じ電波帯を使用していますので、近くにR/CカーやR/Cボートが走行している場所では、絶対に飛ばさないこと。

1 ニッケル水素バッテリーの充電

●コネクターをカチッと音がするまで差し込み、
　充電器を家庭のACコンセントに差し込んでください。

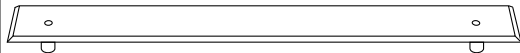
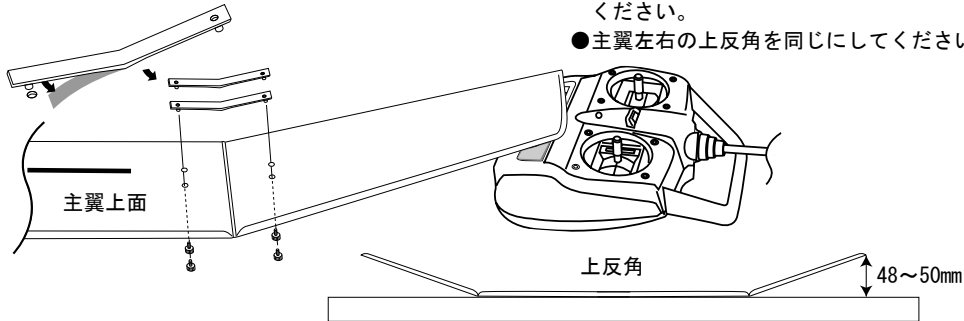
●充電時間は3時間です。
　過充電しないように注意してください。

重要：
できるだけフライトの直前に充電を行ってください。

⚠ ニッケル水素バッテリー取扱い上の注意

●バッテリー使用の前に必ず取扱説明書をよく読んでください。(3ページ)
●スカイモード1000専用。他には使用しないでください。
●充電は、専用充電器を使用して正しく充電してください。
●分解・改造、外装チューブをはがしたりキズをつけないでください。
●水や海水につけたり濡らさないでください。
●使用しない場合には本体から取り外し保管してください。
●不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで
　リサイクル協力店へお持ちください。

2 主翼の組立

使用するパーツ

主翼補強板（x4）

2 x 5ビス（x8）

●主翼補強板で上反角をつけますが翼端で48〜50mmになるように組立てる。
下図のように平らなテーブルの上に送信機を倒して、SKYMODE1000のラベルの部分に翼端がくるように組立ると便利です。

●主翼補強板を粘着テープで下図のように取付け、しっかりと押さえてください。

●2x5ビスをしっかりとねじ込んでください。

●他の2つの主翼補強板も同じように取付けてください。

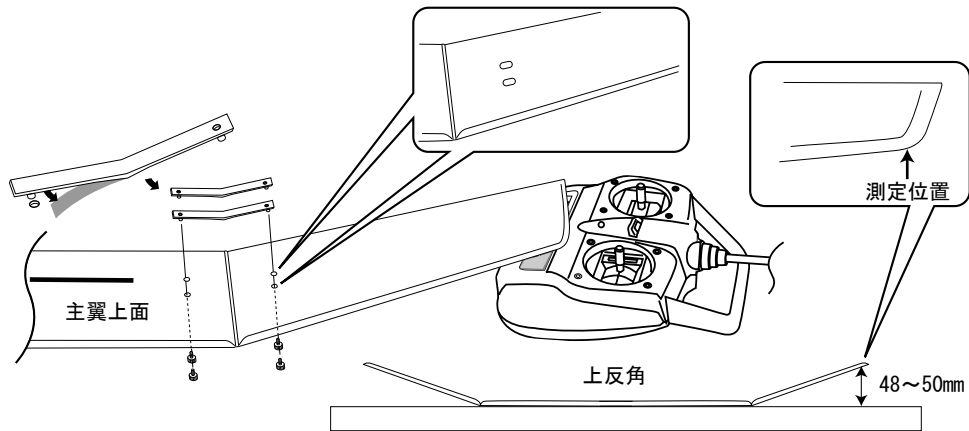
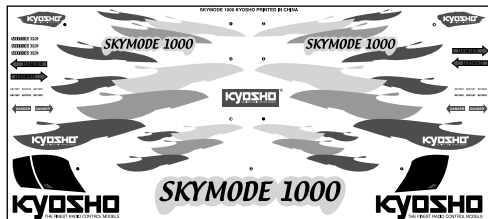
●主翼左右の上反角を同じにしてください。

No.10191 スカイモード 1000 補足説明書

5ページ 2

主翼の組立で、左右の上反角が合わない場合は、
下図のように主翼補強板を取付ける穴を、長い穴
に加工し上反角を合せてください。

3 デカール

SKYMODE 1000 KYOSHO PRINTED IN CHINA

※番号のないデカールは好きな所に貼ってください。。

胴体

❼ (❻)

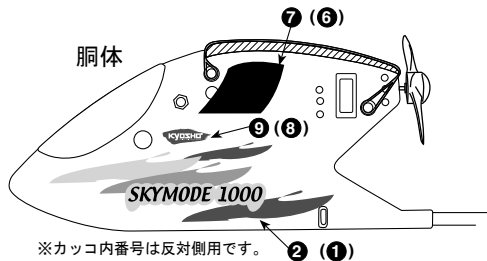
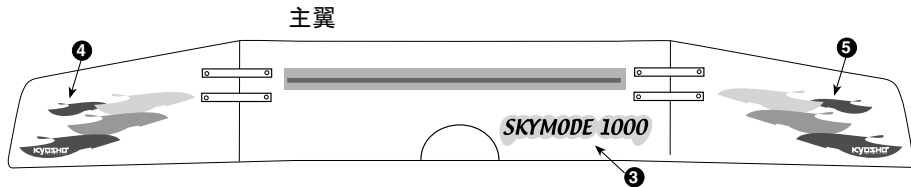
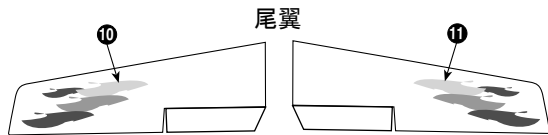
❾ (❽)

※カッコ内番号は反対側用です。

❷ (❶)

尾翼

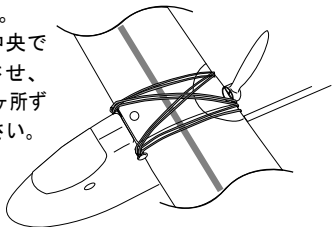
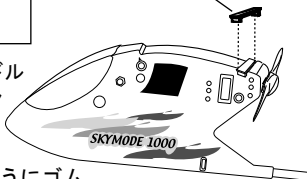
❿

⓫

4 主翼とメイン／テールギヤの取付け

使用するパーツ

ウィングシム

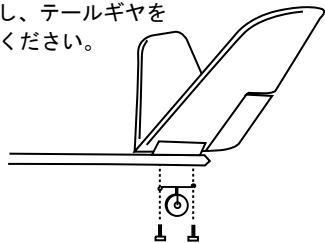
●図のように、ウィングサドルの後ろの機体の上にウィングシムを取付けてください。
●ウィングシムの上にウィングを置き、通常と同じようにゴムバンドで機体に取付けてください。

重要：
●主翼を胴体の中心に置いてください。
●主翼を4本のゴムバンドでしっかりと取付けてください。
図のように中央で２本クロスさせ、両サイドに1ヶ所ずつかけてください。

メインギヤの取付け

●胴体下部の溝にメインギヤを取付けてください。

注意：
芝生など草地に着陸する場合は、メインギヤを取付ける必要はありません。

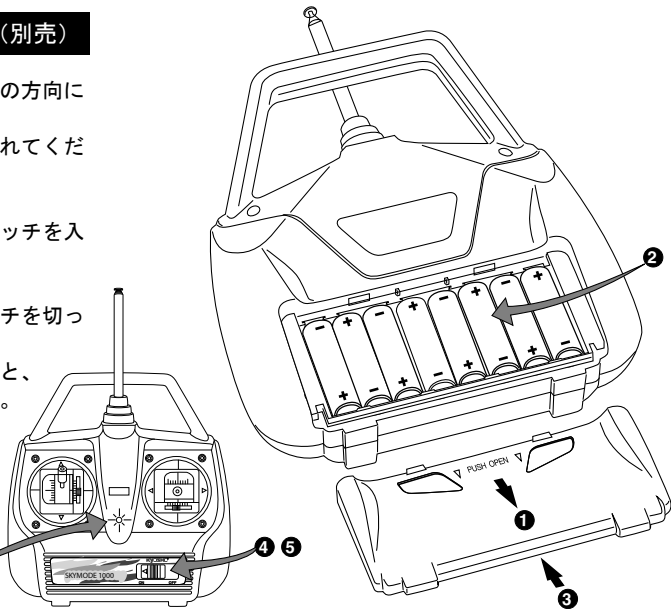
テールギヤの取付け

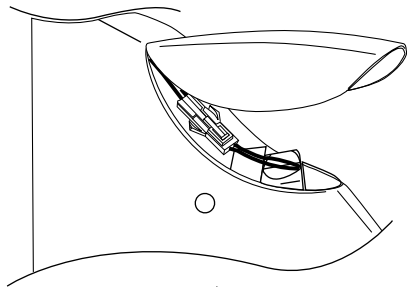
●下図のように取付けてある2x18ビスを一度外し、テールギヤを取付けてください。

5 送信機の準備

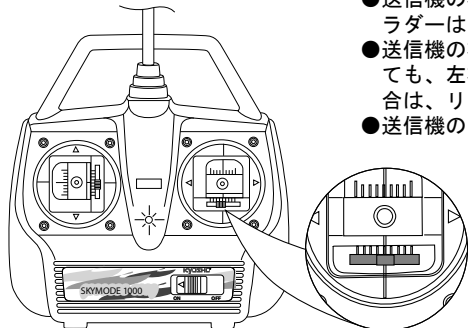
単3アルカリ乾電池 x 8本 （別売）

❶送信機の裏カバーを親指で矢印の方向に押し下げてください。
❷新しいアルカリ乾電池 8本を入れてください。（電池の ＋ － を確認）
❸カバーをつけてください。
❹テストのために、送信機のスイッチを入れてください。
（赤いランプが点灯すればOK）
❺確認が出来たら送信機のスイッチを切ってください。
●送信機の電池がなくなってくると、ピーピーとアラーム音がします。アラーム音がしたらアルカリ乾電池を全部新品に交換してください。

（赤いランプが点灯）

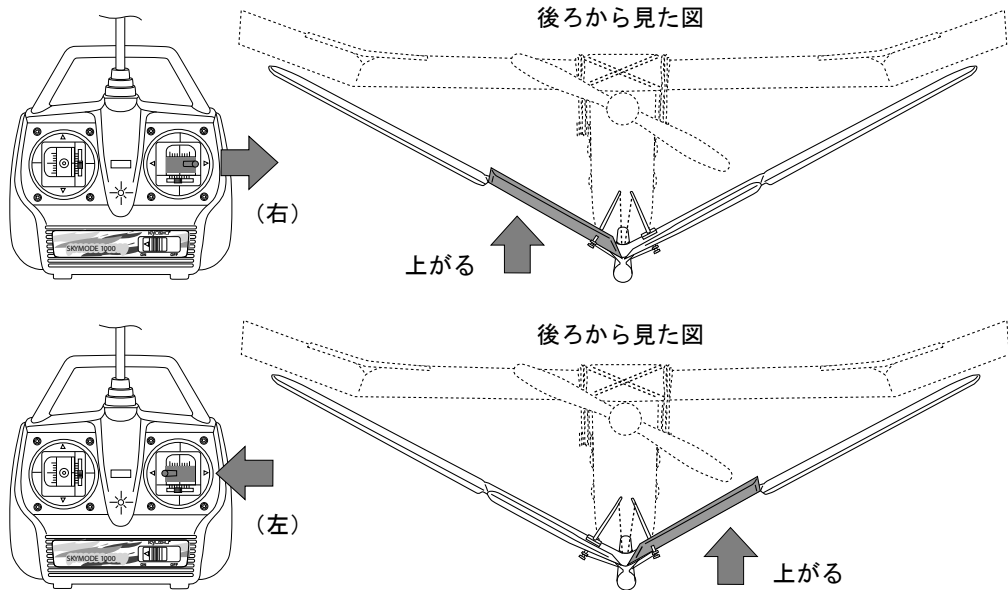
SKYMODE 1000
ON OFF
❹ ❺
❷
PUSH OPEN
❶
❸

6 尾翼（ラダー）のテスト

注意：

バッテリーのコネクターを接続する時、万一モーターが回ってしまう事も考えて、プロペラの周囲に人がいないか注意。

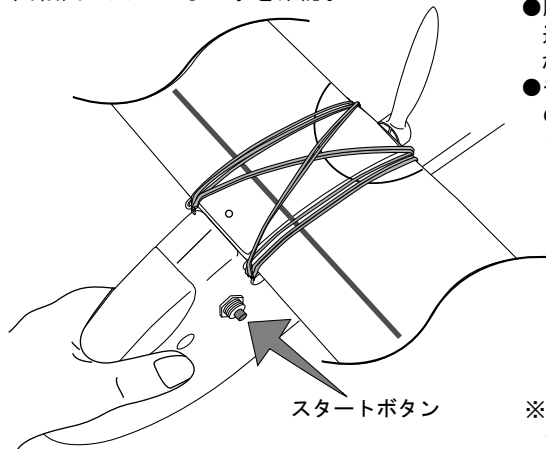
●送信機のスイッチを入れる。－赤いランプが点灯するか、確認してください。
●胴体にバッテリーをれる。－コネクターを接続してください。
●送信機の右側スティックを左右一杯に動かす。ラダーは、次ページのように動きます。
●送信機の右側スティックとトリムレバーが中央にあっても、左右のラダーが尾翼面と同じ角度にならない場合は、リンケージを調整してください。(19ページ参照)
●送信機のスイッチを切る。

調整：

右側のスティックの下にある小さなツマミをトリムレバーと呼び、コントロールスティックのニュートラルポイントの微調整用です。
ラダーの動きテストを行う場合、このトリムレバーを目盛りの中心にしておいてください。

6 尾翼（ラダー）のテスト

後ろから見た図
（右）
SKYMODE 1000
ON
OFF
上がる
後ろから見た図
（左）
SKYMODE 1000
ON
OFF
上がる

7 モーターのテスト

警告：

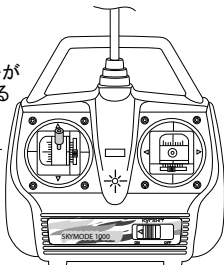
万一モーターが回ってしまう事も考えて、胴体の機首をしっかり押え、プロペラの回転面に人がいない事を確認。

スタートボタン

●送信機のスイッチを入れてください。

●左側スティックが中立でもモーターが回る時は、トリムレバーを下げる。

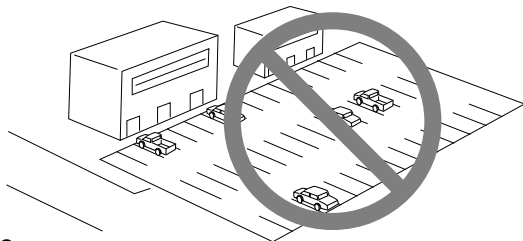
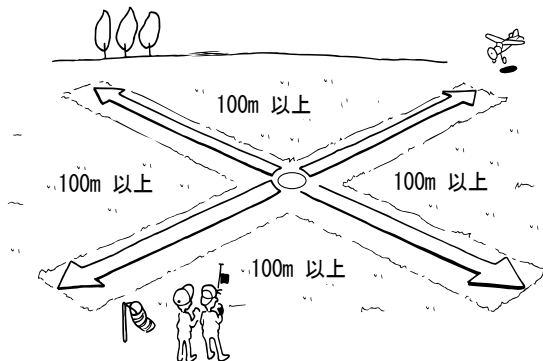
●胴体をしっかり押え心の準備をする。

●胴体の横に付いているスタートボタンを押し、送信機の左側スティックを上に上げると、プロペラが高回転で回り始めます。

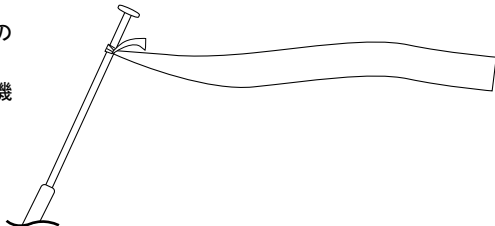
●モーターテストが終わったら、最初にバッテリーのコネクターを外し、次に送信機のスイッチを切ってください。

※始めてのフライト前に、左側スティックを上にして、モーターを回転させ慣し運転をする。
（モーターの回転が止まるまで）

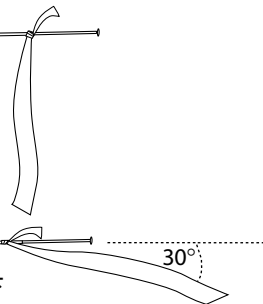
8 フライトに適した場所

●広くて柔らかい地面の草地が最適です。

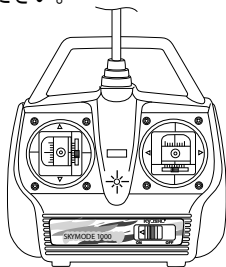
重要：
事故や衝突の恐れがありますので、下記の場所でのフライトはやめてください。
人の居るところ、建物や送電線、高速道路、線路、車の近く、木や水のある場所、歩道等などです。上記のことを守り、安全にフライトさせることを心がけてください。

9 フライトに適した環境

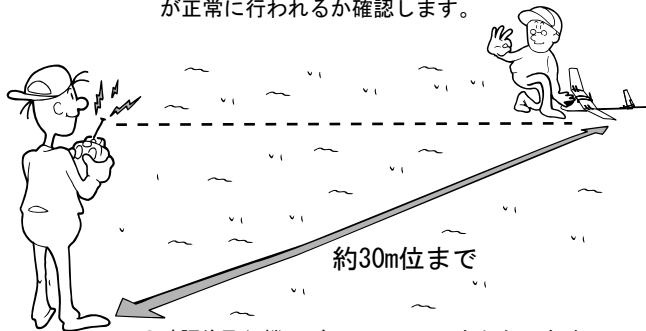
●セットに入っている赤いリボンを送信機のアンテナの先に結んでください。

●アンテナが地面と平行になるように送信機を持ち、風によるリボンの動きを見ます。

●リボンが垂れ下がる場合は、フライトに適しています。

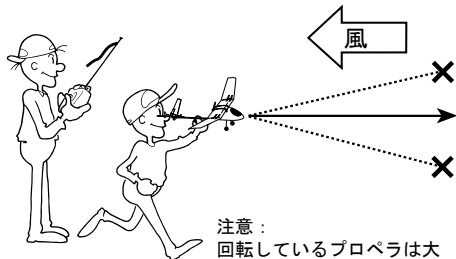
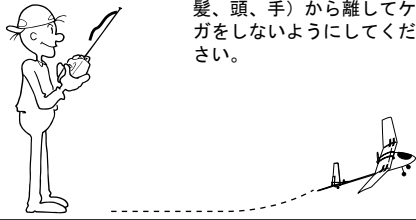
●アンテナとリボンの角度が30度以下になる場合は、風が強すぎるので、フライトには適していません。

10 距離のテスト

距離テストは2人で行う必要があります。1人が送信機を持ち、もう1人が飛行機を持って行います。

注意：
危険ですので、飛行機を持つ人は、プロペラが体のどの部分にも触れないように十分注意してください。

確認：
右図のように距離テストを行って、正常でなければ飛行が出来ません。
もし、正常でない場合は、
当社ユーザー相談室にご連絡ください。

- ●1人が送信機を持ち、もう1人が飛行機を持って約30m位離れてください。
- ●送信機のアンテナを一番縮め、送信機のスイッチを入れてください。
- ●飛行機のバッテリーのコネクターをつなぎ、ハッチカバーを閉めてください。
- ●胴体の横にあるスタートボタンを押してください。
- ●1人が送信機を操作し、もう1人が、飛行機の操縦が正常に行われるか確認します。

- ●確認後飛行機のバッテリーのコネクターを外し、送信機のスイッチを切る。

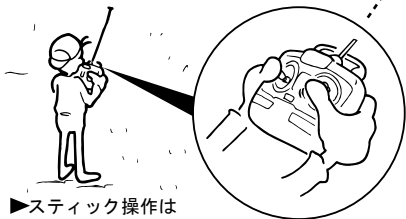
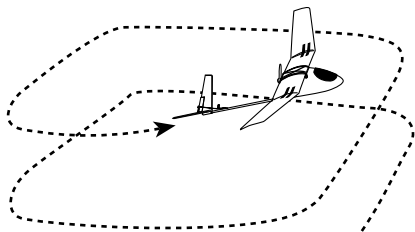
11 手投げ飛行（ハンドランチ）と滑走による離陸

重要：
発進する前に、送信機に結んだ赤いリボンがどの方向に揺れるかを見て、風向きを確認します。

手投げ発進の場合
最初のフライトの時に、1人が送信機を操縦し、もう1人（なるべく大人の方）がスカイモード1000を手投げ発進してください。操縦者が14才以下の場合は常時、大人の方が手伝うようにしてください。

- ●バッテリーを充電したか確認。
- ●機体をしっかりと押え、送信機の左側ステックを上に押し上げモーターを回す。
- ●風に向かって機体を水平に保ち、多少強く前に押し出すようになげる。

滑走による離陸の場合

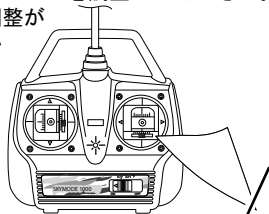
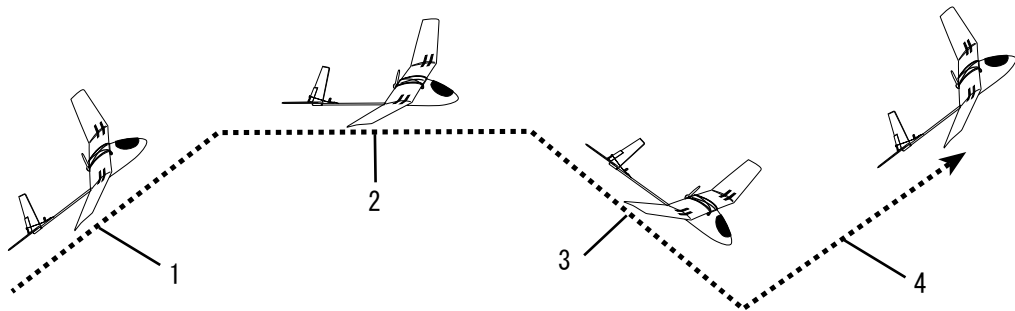
- ●飛行機の後ろに立ち、滑らかなアスファルトかコンクリートの上を、風に向かって発進させてください。
- ●飛行機が常に風に向かって飛ぶようにするために、送信機の右側スティックを調節してください。
- ●バッテリーが充分に充電されている場合は、約7～8m位で離陸します。

12 フライト

►スティック操作は
ゆっくりと行う。

重要：
送信機の右側スティックをいっぱいに倒したままにしないでください。きりもみ下降の原因となり、機体の損傷を招きます。

●発進後、機体は上昇を始めます。送信機の右側スティックを左右に調節し、風に向かってまっすぐに　飛ばしてください。
●高度が約15mになるまで方向転換しないでください。
●コントロール領域は約450mです。遠くに飛ばしすぎないように注意してください。
●風に流されそうになったら、風上に向かってフライトするようにしてください。

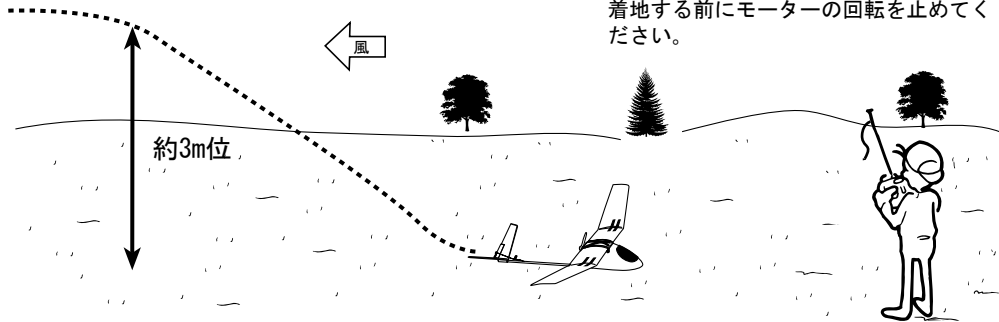
方向転換：
機体を方向転換させたい方向に、送信機の右側スティックを操縦してください。

トリム調整：機体が左右どちらかに傾く場合、送信機の右側の下にあるトリムレバーを調整してください。（右図参照）さらに調整が必要な場合は、速やかに飛行機を着陸させ20ページを参照してください。

13 送信機（左側スティック）の操作

1. 送信機の左側スティックを一番上にして高度約30m以上に上昇してください。
2. 巡航高度に達したら、送信機の左側スティックを約半分に下げモーターの回転を落し、水平飛行になるようスティックを操作する。
3. 高度を下げる時は、送信機の左側スティックを中立にする。
4. 高度を上げる時は、送信機の左側スティックを上げる。

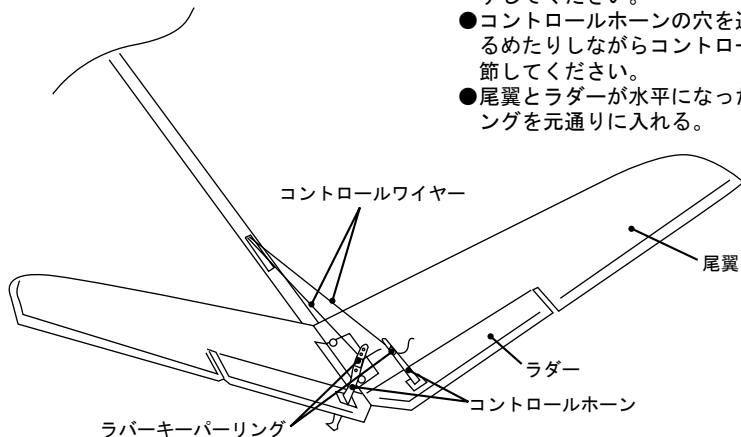
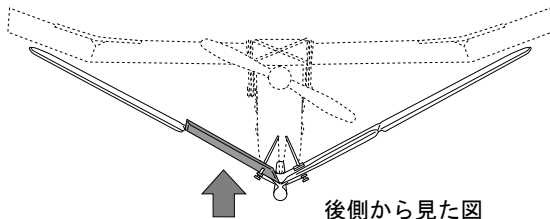
14 着陸

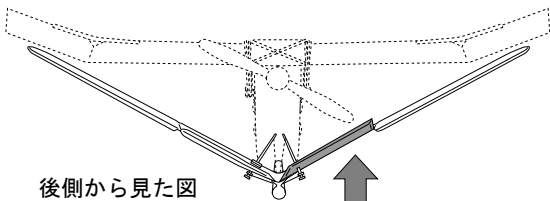
●スカイモード1000は約15分ほどでバッテリーが無くなってきます。うまく上昇しなくなりますので着陸準備に入ってください。
●機体の高度や方向を調整しながら着陸したい目的地を目指して、風に向かってまっすぐにフライトさせてください。高度約3mになったらモーターの回転を止めるために、送信機の左側スティックをゆっくり下げてください。飛行機がすべるように降りてきます。

オート･カット･オフ：
電池が残り少なくなった場合､自動的にモーターを止め､安全に着陸できるように、操縦に必要な電源を確保します｡モーターが止まったらすぐに着陸する準備をしてください。

警告：
けがをしますので､絶対にフライト中の飛行機を手で捕まえようとしないでください。また、主翼やプロペラを損傷しますので、着地する前にモーターの回転を止めてください。

15 尾翼（ラダー）の調整

初飛行の前に､尾翼が尾翼の他の部分と揃っていない場合は､下記の要領にしたがって調整してください。

●コントロールホーンからラバーキーパーリングをはずしてください。
●コントロールホーンの穴を通して、引っ張ったりゆるめたりしながらコントロールワイヤーの長さを調節してください。
●尾翼とラダーが水平になったら、ラバーキーパーリングを元通りに入れる。

調整（飛行機が左右に曲がる場合）

16ページの要領で送信機の右側スティック下のトリムレバーを調整し、スティックを中立にしても、飛行機がまっすぐに飛ばずに左に曲がる場合、以下のようにしてください。

●左のラダーが尾翼の他の面よりも2mm上になるようにコントロールワイヤーを調節してください。
●飛行テスト。
●まだ左に傾いて飛ぶ場合、2mmずつ増やしながら、修正されるまで上記の手順を繰り返してください。

16ページの要領で送信機の右側スティック下のトリムレバーを調整し、スティックを中立にしても、飛行機がまっすぐに飛ばずに右に曲がる場合、以下のようにしてください。

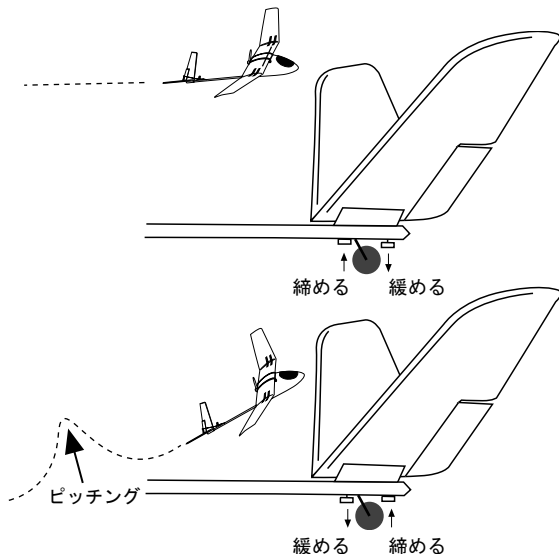
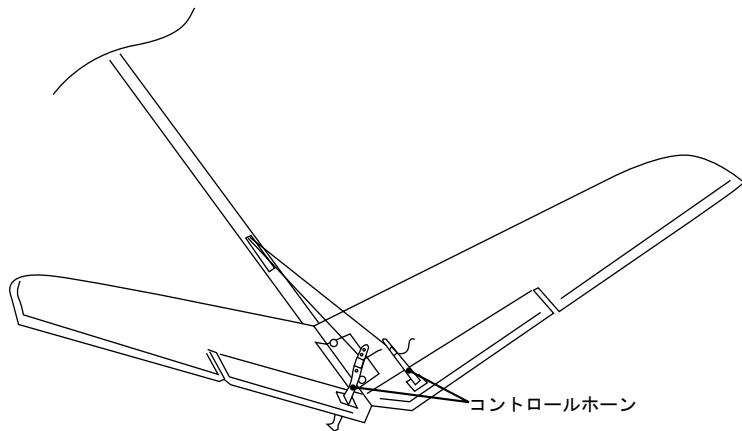
●右のラダーが尾翼の他の面よりも2mm上になるようにコントロールワイヤーを調節してください。
●飛行テスト。
●まだ右に傾いて飛ぶ場合、2mmずつ増やし

17 調整（上昇速度）

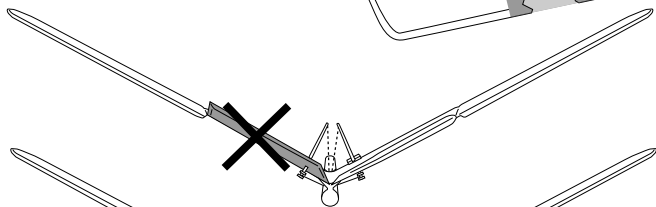
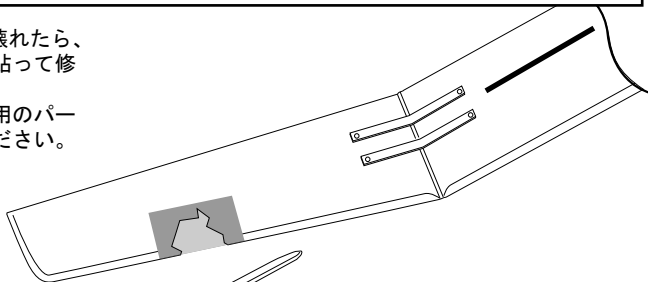
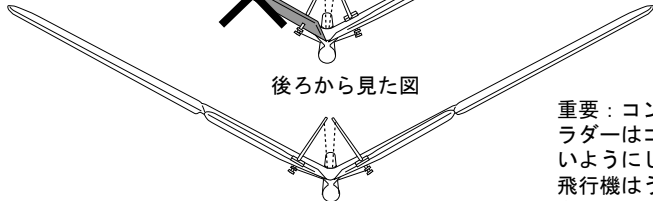
飛行機が、充電したバッテリーを積んでいるのに、送信機の左側スティックを一番上にしても上昇しない場合、下記の要領で上昇速度を調節できます。

●前のビスを1回まわし、締める。
　後のビスを1回まわし、緩める。
●テスト飛行。
●送信機の左側スティックを一番上にした時に充分なスピードで上昇するようになるまで、上記の手順を繰り返してください。

飛行機が、急な角度で上昇したりストール（失速）するときは、下記の要領で調整する。
●前のビスを1回まわし、緩める。
　後のビスを1回まわし、締める。
●テスト飛行。
●一定のスピードで上昇するようになるまで、上記の手順を繰り返してください。

※上記の調整幅は、最大で2回転位です。

18 ラダーの効きが悪いとき

●コントロールホーンの上から3番目の穴に、コントロールワイヤーを通すとラダーの効きが良くなります。

機体の修理

●機体が破損したり、主翼や尾翼が壊れたら、壊れた個所を覆うようにテープを貼って修理できます。
●破損の度合がひどい場合は、交換用のパーツがあります。26ページをご覧ください。

後ろから見た図

後ろから見た図

重要：コントロールアライメント
ラダーはコントロールワイヤーのゆるみがないようにして、左右対称になっていなければ飛行機はうまく飛びません。調整が必要な場合は19、20ページをご覧ください。

故障かな？？・・と思う前に！

症状	原因	対策
送信機で操作しても、 モーターやラダーが動かない。	1．送信機の乾電池が消耗していたり、正しく取付けられていない。送信機の赤いランプやアラームの表示灯が点灯しているか確認。 2．バッテリーのコネクターが接続されていない。 3．モーターが回らない。 4．右の対策をチェックしても動かない。	1．電池の＋・－を確認する。 または、新しい単3アルカリ乾電池に入れ替える。 2．コネクターを、カチッと音がするまで押して確実に接続する。 3．フライトの直前に、機体の横にあるスタートボタンを押すのを忘れないようにする。 4．当社ユーザー相談室に連絡する。
飛行機が一方向に曲がって飛ぶ。	1．ラダーの調整が出来ていない。 2．主翼が機体の中心に取り付けられていない。 3．両主翼の上反角が同じでない。	1．送信機の右側スティック下のトリムレバーを調節する。（16ページ参照） または、水平尾翼の位置を 調節する。（20ページ参照） 2．主翼を胴体の中心に取付ける。 3．両主翼の角度を同じにする。
飛行機の操縦性が悪い。	1．ラダーが適切に調整されていない。 2．主翼か尾翼が壊れている。	1．ラダーを調整する。 （19、20、21ページ参照） 2．主翼や尾翼を修理、または交換する。
飛行機が縦ゆれを続ける。	1．尾翼の取付け角調節がされていない。 2．主翼の上反角調節がされていない。 3．激しい突風が吹いている。 また、風が強すぎる。	1．尾翼ネジを調節する。 （21ページ参照） 2．左右の上反角を合せる。 （5ページ参照） 3．風がおさまるまで飛行を延期する。
飛行機が上昇しない。	1．モーターの回転不足。 2．尾翼が調整されていない。	1．当社ユーザー相談室に連絡する。 2．尾翼取付けビスを調整する。 （21ページ参照）

上手く飛行させるために・・！

1. 初心者が守らなければならないこと：
   風の強い時のフライトはやめてください。(13ページ参照)
2. 重要：
   飛行する場所を注意深く選んでください。
   直径約200m位の草地など、地面の柔らかいところが最適です。
3. 注意：
   送信機の右スティックをいっぱいに操作しつづけるときりもみ下降し、墜落して壊れる危険があります。きりもみ飛行や急な角度で横に傾く様子が見えたら、機体を水平にするために反対の操作をしてください。
4. 飛行場で、より一層楽しむために、予備のバッテリーパックをご購入ください。
5. 飛行場では、常に太陽を背にして視界に入れないようにしてください。晴れた日はサングラスを着用してください。
6. 風の強い日は、飛行機が風に流されないように風上に向かって飛ばしてください。風は、地上よりも高度が上がるにつれて強くなります。
7. 飛行機の正面を人に向けないようにしてください。また、頭上を飛行させないようにしてください。

スペアパーツ

●部品をこわしたり、なくしてしまった場合でもスペアパーツを購入し、元どおりに直す事ができます。
●パーツはお店で直接購入していただくか、お店に行けない場合は郵便を利用して京商から通信販売で購入できます。
●お店にパーツの在庫がなくても、パーツ直送便をご利用になれば、いち早く購入ができます。
●京商では電話での直接のご注文は取り扱っておりませんのでご了承ください。

京商株式会社　〒243-0034 神奈川県厚木市船子153 ●ユーザー相談室直通 電話番号 046-229-4115
お問い合わせは：月曜〜金曜(祝祭日を除く) 10：00〜18：00

品番	パーツ名	内容（入数）	定価（税別）	発送手数料
10191-01	プロペラ	＊プロペラ（スピンナー一体型）x 1	800	200 （一律）
10191-02	ランディングギヤセット	＊メインギヤ x 1　＊テールギヤ x 1 ＊スポンジタイヤ（ホイール付） x 2 ＊リヤタイヤ x 1 ＊ホイールストッパー（プラパーツ） x 1	1500	
10191-03	主翼セット	＊主翼 x 1　＊主翼補強板 x 4 ＊ビス（2x5） x 8　＊主翼補強パイプ x 1 ＊主翼補強パイプ止めテープ x 1 ＊主翼止めゴムバンド x 4	3800	
10191-04	尾翼セット	＊尾翼 x 1　＊尾翼固定プラパーツ x 1 ＊コントロールホーン x 2 ＊ラバーキーパーリング x 2 ＊ビス（2x18） x 2　＊ラダー用ゴムバンド x 1	2200	
10191-05	デカール	＊デカール x 1	1500	
71191	ニッケル水素バッテリー （7.2V-900mAh）	＊充電式ニッケル水素バッテリー	4000	

パーツの価格には、消費税は含まれておりません。また、定価、発送手数料、消費税は平成13年9月1日現在のもので、法規改正、運賃改定、諸事情などにともない変更になりますのでご了承ください。

スカイモード1000 での楽しみ方

少し練習すれば、下図のようなワンランク上の楽しみ方ができるようになります。
大会などに参加しなくても、ご家族、ご友人と一緒に楽しんで頂けます。

1．リボンくぐり

2．パイロン

3．定点着陸

4．滞空時間